

いちよしSDGs中小型株ファンド

追加型投信／国内／株式

2023年10月2日

いちよしSDGs通信 VOL.45『SDGsの進捗とグローバルサウス』

9月18、19日の2日間にわたり、4年ぶりの「SDGsサミット(首脳級の持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム)」がニューヨークにある国連本部で行われました。今回は、SDGs達成に向けた進捗状況と、国際動向からみるSDGsの今後についてご紹介します。

■SDGsの達成は危機的な状況

SDGsサミットとは4年に一度、国連で開催され、各国の首脳や国際機関のリーダーがSDGsの進捗状況や課題、取り組みを報告し、達成に向けたアクションについて議論するものです。今回のSDGsサミットは、目標が採択された2015年から数えてターゲット年である2030年の達成期限の中間点に当たります。残念ながら、SDGの進捗は芳しくありません。SDGsサミットの開催に先んじて7月に発表されたSDGs進捗レポートによれば、評価可能な約140のターゲットのうち、半数が望ましい軌道から中程度または著しく逸脱しており、これらのターゲットの30%以上が、2015年から全く進展していないか、むしろ後退しているとし、強い危機感を示しました。



▲SDGsサミット2023に出席する岸田総理
(外務省HPより引用)

背景にあるのは、コロナ禍、ロシア・ウクライナ戦争と激動する世界情勢の変化において、グローバルな連携以上に、国益や国家間の同盟関係の形成がより重視されるようになったことが考えられます。その結果、南半球を中心とした新興国や途上国の総称である「グローバル・サウス」は、貧困、異常気象、食料やエネルギー価格の高騰に苦しんでいます。

今、グローバル・サウスに属する多くの国が欧米主導の国際秩序に置き去りにされていると感じ、結束を模索しています。例えばBRICSでは、2024年にアルゼンチンやサウジアラビアなど6カ国の加盟を合意(通称: BRICS+)しました。世界のGDPに占める割合は先進国で構成するG7を上回ることが想定され、国際的な発言力が高まるとみられます。

ロシアによるウクライナ侵攻を巡って世界が分断されるなか、日本をはじめとする先進国は国際秩序の維持に向けてグローバル・サウスとの連携を深める重要性が増しています。SDGs進捗レポートによれば、現在から2030年までの間に、年間5,000億ドルのSDGs刺激策が必要だとしています。日本は、エネルギー、食料安全保障、気候変動といった地球規模の課題への対応を主導し、グローバル・サウスと呼ばれる国々への支援を行う必要に迫られています。こうした背景から、今後SDGs達成へ向けた取り組みは大きく進捗が改善する可能性が期待されます。

※ 当ファンドのお申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。

※ 当資料はいちよしアセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。また、上記は当レポート発行日時点における「いちよしSDGs中小型株ファンド」の運用チームの見解であり、現在の見解とは異なることがあります。

お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示しています。
換金価額	換金(解約)申込受付日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
信託期間	原則として無期限(2020年8月21日設定)
決算日	毎年8月20日(休業日の場合は翌営業日)
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除の適用があります。 益金不算入制度は適用されません。

●お客様には以下の費用をご負担いただきます。

直接的にご負担いただく費用	
購入時手数料	お申込金額(手数料・税込)に応じて以下に定める手数料率を購入金額に乘じた金額となります。 5,000万円未満 3.3%(税抜3.0%) 5,000万円以上1億円未満 2.2%(税抜2.0%) 1億円以上 1.1%(税抜1.0%) ※購入時手数料は、商品および関連する投資環境の説明や情報提供など、ならびに購入に関する事務コストの対価です。
信託財産留保額	換金時の基準価額に0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。
間接的にご負担いただく費用	
運用管理費用(信託報酬)	ファンドの日々の純資産総額に年1.584%(税抜年1.44%)の率を乗じて得た額とします。 運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日(当該終了日が休業日の場合はその翌営業日)および毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
その他の費用・手数料	監査費用、目論見書等の作成、印刷、交付費用および公告費用等の管理、運営にかかる費用、組入有効証券の売買の際に発生する売買委託手数料、先物・オプション取引等に要する費用等が、信託財産より支払われます。 ◆これらの費用等は、運用状況等により変動するため、料率、上限額等をあらかじめ表示することが出来ません。

※上記、ファンド費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

主な投資リスクと留意点

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてわが国の株式への投資を行いますので、組入れた有効証券等の値動きにより当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。

当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。

※これはすべてのリスクを網羅したものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当ファンドは、預貯金とは異なります。預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

当資料はいちよしアセットマネジメント株式会社(以下、弊社)により作成された販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。当資料は弊社が信頼できると判断した各種情報に基づいて作成されておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。当資料に記載された意見等は予告なしに変更する場合があります。また、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

●設定・運用は

 **いちよしアセットマネジメント**

商号等：いちよしアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第426号

加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会



見やすいユニバーサル
デザインフォントを
採用しています。